



2009-2010年度
 "Future of Rotary is in Your hands"
 RI会長
 ジョン・ケニー



千歳ロータリークラブ会報

2009年11月26日
 第18号 (通算1986号)

CHITOSE ROTARY CLUB

岩崎会長テーマ
 『浩然の気』
 -ロータリアンは茄子の花-

会長 岩崎 暉久 副会長 加藤 武仁 幹事 川端 清
 会長エレクト 佐々木金治郎 会計 佐藤 晴一
 第2510地区ガバナー 渡邊 恭久 第7グループ・ガバナー補佐 加藤 寛治

～ 11月はロータリー財団月間～



WCS検証ツアーについての卓話をいただきました (11月19日の通常例会)



ゲストの千歳セントラルRCの田口会員と武田会員

四つのテスト

～思いと言行はこれに照らしてから～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

本日の例会 (11/26 第22回) : 通常例会 外部講師卓話 「事業承継」 桶谷 和人 弁護士
 (独立行政法人 中小企業基盤整備機構「事業承継」コーディネーター) 担当: 職業奉仕委員会
 ～ANAクラウンプラザホテル千歳～

(12月のプログラム)

- 3日 (木) 通常例会 (地区ロータリー財団委員長卓話)
担当: ロータリー財団委員会
- 10日 (木) 通常例会 (フォーラム)
担当: 定款・細則委員会
- 17日 (木) 夜間例会 (クリスマス家族会)
担当: 親睦活動委員会
- 24日 (木) 年次総会 (36分例会)
- 31日 (木) 休 会

(ローターアクト例会)

12月17日 (木) 合同夜間例会

(プロバスクラブ例会)

12月8日 (火) 午後6時半
 ベルクラシック・リアン (千歳平安閣)

出席率 前回: 47.4% (27/57、実数)
 確定: 72.4% (11月1日=42/58、うちメーキャップ1名)

2009～2010年度
第21回（通算2088回）例会報告

日時：2009年11月19日 12：30～13：30
場所：ANAクラウンプラザホテル千歳
プログラム：外部講師卓話
担当：国際奉仕委員会

例会の進行

SAA委員長 大西 信也



ロータリーソング斉唱 「奉仕の理想」

四つのテスト

発 声



新世代・ローターアクト委員会
委員長 今野 良紀

友情の握手タイム

お 客 様



2510地区世界社会奉仕委員会 田口 廣 委員
千歳セントラルロータリークラブ 武田 伸也 会員

紹介者 川端 清 幹事

会長挨拶

会 長 岩崎 暉久



ただ今幹事からご紹介のありました、地区WCS委員会の田口委員、そして千歳セントラルロータリークラブの武田さん、ようこそいらっしゃいました。国際奉仕委員会の担当で卓話をいただくということで、よろしくお

願いいたします。

さて、11月に入りアメリカのオバマ大統領が来日し、日本政府との間で懸案でありました沖縄の普天間基地の問題などが話し合われました。テレビで見ますと、普天間基地のそばに住宅がいっぱいあるのですが、離着陸で相当騒音に悩まされているようです。また、天皇陛下の即位20周年記念行事が開かれ、テレビなどを見ますと、国民の幸せを願うお言葉が述べられておりました。

11月5日は国際ソロプチミスト千歳のチャリティディナーが開催され、私と川端幹事で参加してきました。昔懐かしい歌とバンド演奏、そして終りのほうで抽選会があり、私も幹事も当たらなかったのですが、楽しい時を過ごしました。また、10日には千歳セントラルロータリークラブが通算900回の記念例会ということで、私と川端幹事が出席してきました。創立以来19年を迎えたとのことで、来年は20周年ということでもあります。高塚会長からは今後1000回に向けて充実した親しみのある活気あふれるクラブにしていきたいとの挨拶がありました。

幹事報告

幹 事 川端 清



指名委員会が先日の理事会で決まりましたので、発足いたします。指名委員会の委員は、五十嵐宏会員、木村照男会員、本宮輝久会員、村田研一会員、下山徹哉会員、宮本伸司会員、

佐藤晴一副幹事のメンバーです。そして、11月26日の例会は職業奉仕委員会担当の外部講師による卓話があります。詳しいことは後ほど委員会報告で発表があります。12月3日の例会は、ロータリー財団委員会担当で、地区ロータリー財団委員会の岩城秀晴委員長の卓話があります。演題は「ロータリー財団について考えてみよう」です。

委員会報告



親睦活動委員会

委員長 曙 恒平

手帳にも記載されていますが、年末年始は皆さんも忙しいと思いますので、あらためて確認をさせていただきたいと思えます。12月17日はクリスマス会、1月7日は新年交礼会となっております。また、今年のクリスマス会につきましては、岩崎会長の強い思い入れがありまして、奥様をお招きをのクリスマス会として企画していきたいと思えますので、会員の皆様も、是非奥様のスケジュールも押さえていただいて、多くの出席をお願いしたいと思います。楽しい企画にしていきたいと思えますので、どうぞよろしくお願いいたします。



職業奉仕委員会

副委員長 佐藤 信明

次週26日の例会におきまして、職業奉仕委員会担当の例会として外部講師をお招きして卓話を頂きます。演題については「事業承継」です。講師は、札幌信用金庫に「さっしん地域経済金融センター」という別会社があり、事業承継などの経営相談一般を扱っているのですが、そちらでは「中小企業基盤整備機構」の方とお付き合いがありまして、そこを通じまして、弁護士の事業承継コーディネータのうちの一人であります桶谷先生という弁護士さんをご紹介いただきまして、お招きすることとなりました。桶谷先生は、弁護士であると同時に、公認会計士の資格もお持ちで、事業承継を含めていろいろな税務相談を担当されていると聞いておりますので、あまり堅くならない話をお願いしております。ですので、事例を含めていろいろなお話が聞けるのではないかと

思っております。是非、たくさんの方の参加をお願いします。また、先生からは「事業承継ハンドブック」、「中小企業経営者のための事業承継対策」という小冊子を全員の分いただいております。来週の例会で、皆様にお配りしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

ゲスト卓話



国際奉仕委員会

委員長 尾崎伊智朗

本日卓話を頂く、2510地区世界社会奉仕(WCS)委員会の田口廣委員のご経歴を簡単にご紹介いたします。田口さんは、1951年に帯広でお生まれになり、1985年に早来にて、競走馬のトレーニングファームを開業いたしました。1991年に千歳青年会議所を卒業された後、1992年に千歳セントラルロータリークラブへ入会、2002～2003年度に第12代会長を務められています。また、2003年度からは2510地区の世界社会奉仕委員を務められています。主な公職といたしましては、2008年から胆振軽種馬協会代表幹事を務められています。本日は「WCS検証ツアーの報告」と題しまして、卓話をいただくことになっております。それでは、よろしくお願いいたします。

「WCS検証ツアーの報告」

地区世界社会奉仕委員会 田口 廣 委員



紹介をもう少し補足しますと、駒里に隣接している早来の土地で競走馬のトレーニング場を開設しております。約100頭ほどの馬がおり、預かり馬がほとんどなのですが、私の馬も少しあります。基本的には、オーナーから預かった馬の調教、育成がメインの仕事で、決して、安い馬を買って高く売りつけるという訳ではございません（笑）。今週の火、水、木で道営競馬が終了するのですが、目標額130億円をなんとか火曜日にクリアしたということです。来年が正念場なのですが、来年なんとか目標を達成すると、廃止ということは免れる可能性が出てきたということなのですが、来年目標を達成したとしても高橋知事がずっと継続するという確約は取れていません。単年度、単年度が全く分からない状況で、非常に厳しい状況にあります。

また、JRAの方も15年くらい前には売り上げが4兆円くらいあったのですが、最近では3兆円を切るくらいになり、厳しい状況です。今朝の新聞にも、5重連単という、5つ当てれば賞金が億単位という夢の馬券が発売されるということが出ていましたが、いかんせん売り上げが落ちている、しかも馬主が減っているという状況です。バブル期の3年後くらいにはJRAのオーナーが4500人いたのですが、現在2400人くらいしかいない状況で、その2400人の中で一人で走らせているオーナーは1300人しかいない、あと1100人くらいはいわゆる一口馬主です。一頭の馬をJRAに預けると月50~60万円くらいかかるのですが、それが払えないような状況に陥っていて、一口オーナーとして馬主を継続しているような状況です。出走すると出走手当がだいたい32、3万あるのですが、月60万円かかるとすると、月28万円程度の赤字ということになるわけです。それが、5、10頭と持っている人は、月何百万、年間で何千万の赤字となるわけです。ところが、8着までに入ると最低65万円くらいもらえるわけですが、そうするとだいたい月の経費がまかなえる。ところが、最低のレースでも1等賞金が500万円ありますので、500万円のレースをクリアすると次は1000万円のレース、それをクリアするとGIIIとなって4000万

円のレース、GIIになると7000万円、GIになると1億円となっていくのですが、それはほんの一握りのオーナーであり、下の方は大変な状況です。

WCSは他国との共同作業

私は6年前に地区のWCSの委員となりました。当初は「何をやるのかな」と思っていたわけですが、3年間ぐらいいは委員会に出ているだけで話を聞いているだけだったのですが、そのころは地区でもあまり事業がない、あまり知られていなかったのが現状ではなかったかと思えます。そのうちに、検証ツアーというのがあるということで、是非行ってみないかということになり、3回連続して行っているのですが、本日はその3回をまとめて皆様に報告したいと思います。



WCSはあくまで、他国のロータリークラブとの共同作業となっています。最近では、東南アジアのクラブ、タイやインドネシアがメインとなっています。なぜそこに集中しているかというと、やはり相手国のロータリーがしっかりしているかどうかという問題が発生しますので、過去にはロシアやモンゴルなどの国での事業で、今ひとつ明確な事業ができなかったということがありました。このため、近年は東南アジアがメインとなっています。検証ツアーに行かなければ、やはり感動ということは味わえないのですが、それを伝えるためにWCSの委員が皆様のクラブを訪問してこのようなツアーの結果を皆様に報告しています。

数年前の参加クラブはわずか3クラブだったのですが、年を追うごとに増えています。これが今年度の事業なのですが、既に14クラブが

参加しています。今年、滝川でWCSの説明会があったのですが、現時点では一杯の状態でこれ以上、予算がなくて無理という状況にきています。



2007年度にはタイへ行きました。飛行機を降りてから2～3時間、現地のロータリアンが迎えに来てくれた車に乗って行くのですが、自衛隊さんが乗るような幌をかぶった横乗りの車に乗って大変な思いをして行きました。これが2005年に寄贈した救急車です。以前は救急車がなかったので、緊急の時はトラックで病院へ運んだ、雨の日は雨に打たれながら運んだという状況だったそうです。また、蘭越から寄贈された消防車が活躍していました。消防車は火を消すのはもちろんなのですが、パレードなどがあるとパレードの先頭で先導しているそうです。

浄水器も設置しています。簡単な仕組みなのですが、現地の地下水は塩分ですとか化学物質などによりそのままでは飲めないそうです。もともとは、雨水を貯水槽に貯めて飲んでいたのですが、雨が降った直後はいいのですが、何日かするとボウフラがわいてくるという状態だったそうです。

タイ国王が発案したチェックダム

次にチェックダムの状況です。タイは山岳地帯で、森林伐採などの問題により、雨が降ると一気に氾濫して、ここ数年は毎年百名単位の方が亡くなったというのが現状だったそうです。これはチェックダム事業の現場ですが、わずか幅5メートルくらい、高さ2メートルくらいのダムです。このときは2月で乾季なので雨は3カ月くらい降らない時期なのですが、5月になると雨がしとしと降ってくるのです。これは、

ダムというより堰なのですが、この堰を上の方まで80から90くらい作る。これが非常に役に立っている、水害も少なくなってきたと聞いています。このチェックダムはタイのプミポン国王の発案だそうで、最初は竹だけで作っていたのですが、数年前からは事業でコンクリートを使うようになってかなり丈夫になってきました。

去年の5月に行ったときの様子をお話します。チェンマイのロータリークラブは女性が多いのですが、タイは女性の経営者が多い、男性より女性の方がよく働くという国だそうです。チェックダムの山をずっと登っていたのですが、ここには私たちの千歳セントラルRCも援助をしております。一見こんな堰が？と思うのですが、これが大事な役割をしています。これを80から90、各年に作っているのです。当時は雨季に入ったばかりで、それほど水が来ていない時期なのですが、背の高さ以上の水があふれています。去年は私は都合があり、ツアーは2日間で帰ってきました。



バイクの移動図書館

今年の2月に行ったとき、インドネシアのジョグジャカルタなどに行ってきました。毎日泊まるホテルが違う、国が違うという大変なツアーでした。移動図書館の様子を見たり、函館の五稜郭クラブが作ったかぐや姫の紙芝居を見ました。紙芝居は向こうでは大受けということでした。移動図書館はオートバイの後ろで牽引していました。本が読めない子供たちに本を提供し、女性たちにも識字率向上のために本を読ませています。あらゆるところに行けるというのが強みです。

幼稚園に遊具を贈る事業も見てきました。こ

れはオランダとのマッチングで事業を展開しています。また、孤児院のためのマットレス事業もたまたま150枚分の準備をしていたところ、この年の円高で300枚分のマットを贈ることができました。子供たちは床に寝るのが普通で、マットに寝れるのは夢のようだという言葉が返ってきました。

マッチングの事業でダムを造ってきたのですが、1個まるまる作ったということで大変な作業時間がかかりました。

WCSでは皆様から事業に参加したいという声がありましたら、私どもにいただければと思います。日本でもまだまだ足元に手助けしなければいけないことがあるのですが、WCSということで世界ということに視野を広げて活動しています。今後ともよろしく願いいたします。

《謝辞》 会長 岩崎 暉久

世界社会奉仕委員会田口委員様、大変貴重な話をありがとうございました。世界社会奉仕(WCS)は国際ロータリーが設ける常設プログラムの一つです。タイですとかインドネシアなどの発展途上国で役に立っています。滝川RCが寄贈した救急車の走行距離が13万5千kmということで、大活躍しているとのこと。浄水器の寄贈ですが、食事にしても洗濯にしてもきれいな水が基本です。これからも、ロータリークラブが世界に向けてこのようなボランティア活動をすることをお願い申し上げまして、お礼の言葉とします。本当にありがとうございました。

編集後記

この連休は、久々の家族旅行で東京・横浜方面へ行ってきました。景気が悪くなったとはいえ、街を歩く人の多さやいつのまにか出来ている新しいビルなどに、首都としての活気が感じられました。ただ、久しぶりの人ごみはやはり疲れますね。(尾崎)

ニコニコBOX

岩崎 暉久 会長

今日も元気で例会出席できました。

地区世界社会奉仕委員会

田口 廣 委員

本日の講演と本年道営競馬で23勝させていただいたことに感謝して。

地区世界社会奉仕委員会

出村千佳子 委員長

本日参加の予定でしたが急用が入り欠席することになりました。田口氏の講演を記念して。

小笠原 良 会員・曙 恒平 会員

セントラルRC 田口氏の講演に感謝して。

平間 和弘 会員

11月18日夜、レストランインターにおいて北洋銀行はまなすクラブ主催の麻雀大会で上位入賞しました。

本日のニコニコ集計 21,000円



ニコニコ紹介

親睦活動委員会

副委員長 玉山 敬吏

千歳ロータリークラブ

事務所 千歳市北栄2丁目2番1号 ANAクラウンプラザホテル千歳 TEL.23-4470 FAX.23-4600

事務局 月・水・木曜日 10:00~14:00 ホームページ:www.phoenix-c.or.jp/~c-rotary/

例会日 木曜日 12:30~13:30 第3木曜日 18:30~ e-mail:c-rotary@phoenix-c.or.jp

クラブ会報・広報・雑誌・IC委員会

◎沼田 常好 ○大澤 雅松 尾崎伊智朗 齊藤 公彦 村上 倫行

印刷 千歳印刷株式会社 千歳市錦町3丁目3番地 TEL.23-2229 FAX.23-2724